

令和6年度 事業報告書
令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 大地

1 事業の成果

昨年度に引き続き、就労継続支援B型、及び生活介護サービスを提供する障がい福祉サービス事業所「いちごの広場」の運営、サービス提供を実施した。

就労継続支援B型事業では、生産活動として従来からの農業生産、菓子製造、パン製造、受託事業等を継続して実施している。サービス利用者の増加を目指し「いちごの広場」の活動に興味を持つ方の見学や体験、及び学校等の実習受け入れを行ってきたが、契約には結びつかず、当該年度の平均利用者数はほぼ前年度並みとなった。

農業生産においては、特に白ねぎの生産性向上の取組を強化し、栽培面積の更なる拡大や作業環境の機械化・効率化を推進した。酷暑による収穫量低下はあったものの、一定の収益を確保し、利用者の意欲向上にも繋がっている。障がい者と作業のマッチングを目指す当法人の農福連携に対しては、行政や福祉サービス事業者の視察希望も隨時受け入れており、治具等を活用した独自の取組を紹介している。

食品製造では、パン製造、菓子製造とともに堅調に推移している。物価高騰により利益率の低下の懸念はあるものの、より売上の見込める販路への見直しや製造原価の適切な管理等によって安定した収益源となっており、事業収入の主要な柱となっている。

請負事業では、引き続き日吉津村の喫茶委託事業、清掃委託事業、「伯耆のきのこ」の作業請負等を実施している。また、従来から台紙折り、シール貼り等の簡単な軽作業を受注してきたが、取引先の作業委託終了や作業そのものの収益性、他作業への労働力の集中など複合的な要因により、当該年度を目途に規模を縮小する事となった。

令和6年度の生産活動事業収入は、全ての部門で好調を維持し、初めて900万円の大台を突破。平均月額工賃は前期を10%以上上回る結果となった。

生活介護事業では、引き続き「生産活動」と「余暇活動」を組み合わせたプログラムによりサービス提供を行っている。月に1度、日吉津村赤い羽根共同募金の助成事業として、音楽や楽器を使い体を動かす「音楽活動」を継続して実施しており、利用者の身体機能や心身の健康の向上を図っている。

令和6年3月末時点での登録者数は、就労継続支援B型17名、生活介護9名、年間平均利用者数は就労継続支援B型13.1名、生活介護4.9名、平均月額工賃は22,783円（就労継続支援B型）となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
保健、医療または福祉の増進を図る活動	障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型、及び生活介護サービス事業	常時	いちごの広場	17人	利用者26人	54,565

(2) その他の事業

実施なし

(備考)

- 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。